

選抜入試

日程A

日程B

アドミッション・ポリシー「入試種別ごとの受入れ方針」

選抜入試

本学における学修に必要な資質を有する人物の受入れを目的としている。
この試験では、専門実技、グローバル教養コース専門科目、副科実技、音楽理論（楽典）、ソルフェージュ、グローバル教養コース教員による面接のうち、志願する専門により定められている試験科目の点数および面接（学長、学部長）の総合的評価により合格者を決定する（特待生制度あり）。

選抜入試(日程A・日程B)

■選抜入試の特徴

他大学との併願、本学短期大学部及び大学各コース併願可能な入試

対象コース：演奏家コース、器楽コース、声楽コース、グローバル教養コース（音楽学・音楽教育・文化創造マネジメント）

試験科目は「専門実技」「副科ピアノ（副科器楽）」「音楽理論（楽典）」「ソルフェージュ」「面接」等
特待生制度あり

■出願資格

- 16頁に記載した高等学校卒業および卒業見込要件を満たしている方が出願できます。

POINT!

- 演奏家コースは出願するだけで特待生に選出される可能性あり
- 他大学とも併願可能

■科目比重

◎器楽コース・声楽コース・演奏家コース

科目	専門実技	副科ピアノ	音楽理論 ソルフェージュ	面接・調査書 ほか
ピアノ	100	—	30	20
オルガン/チェンバロ	100	20	30	20
弦楽器/管楽器/打楽器/声楽	100	20	30	20

◎グローバル教養コース(音楽学)

科目	小論文	副科ピアノ (副科器楽)	小論文	英語	コース面接	面接・調査書 ほか
音楽学	100	50	100	50	10	20

*いずれか選択

◎グローバル教養コース(音楽教育)

科目	小論文	副科ピアノ (副科器楽)	音楽理論 ソルフェージュ	コース面接	面接・調査書 ほか
音楽教育	100	50	30	10	20

◎グローバル教養コース(文化創造マネジメント)

科目	小論文	英語	個性表現	英語	コース面接	面接・調査書 ほか
文化創造マネジメント	100	50	100	50	10	20

*いずれか選択

■ 入試日程

区分	募集コース	出願期間 (消印有効)	試験スケジュール表 交付※ ¹	練習室使用 可能日※ ²	試験日程と 試験内容	合格発表日 (簡易書留にて郵送)	入学手続期間 (必着)
日程A	器楽コース 声乐コース グローバル教養コース	2020年 1月6日(月) ～ 1月16日(木)	2020年 2月3日(月) 12:00～15:00 または 2月4日(火) 受付時	2020年 2月5日(水) 30分間	2020年 2月4日(火) 筆記試験 2月5日(水) 専門実技/副科実技※ ³ 2月6日(木) 面接	2020年 2月13日(木)	2020年 2月14日(金) ～ 3月6日(金)
日程A	演奏家コース	2020年 1月6日(月) ～ 1月16日(木)	2020年 2月5日(水) 12:00～15:00 または 2月6日(木) 受付時	2020年 2月7日(金) 30分間 ・ 2月8日(土) 30分間	2020年 2月6日(木) 筆記試験 2月7日(金) 専門実技/副科実技 2月8日(土) 専門実技/副科実技※ ⁴ 2月9日(日) 面接	2020年 2月13日(木)	2020年 2月14日(金) ～ 3月6日(金)
日程B	演奏家コース 器楽コース 声乐コース グローバル教養コース	2020年 2月20日(木) ～ 3月5日(木)	2020年 3月14日(土) 12:00～15:00 または 3月15日(日) 受付時	2020年 3月15日(日) 30分間	2020年 3月15日(日) 専門実技/副科実技 3月16日(月) 筆記試験※ ⁵ /面接	2020年 3月19日(木)	2020年 3月20日(金・祝) ～ 3月27日(金)

※¹ 試験スケジュール表は各試験日程初日の受付時に交付します。なお上表に記載のある前日の12:00～15:00の間に入試センター窓口にて交付しますので「受験票」を持参してください。保護者の方が代理で交付を受ける場合も「受験票」を持参してください。

※² 本学の練習室を使用することができる時間帯については、試験スケジュール表交付の際にお知らせします。

※³ グローバル教養コース筆記試験、個性表現およびコース面接は2月5日(水)に実施します。

※⁴ 専門実技と副科実技の実施日程は、2月7日(金)または2月8日(土)のどちらか一日で実施する場合、またはその両日で実施する場合があります。詳細については試験スケジュール表で確認してください。

※⁵ グローバル教養コース筆記試験、個性表現およびコース面接は3月16日(月)に実施します。

■ 出願の流れ

1 出願手続き

出願書類に必要事項を記入し、所定の出願期間に出願手続きを行ってください。試験実施日の1週間前を目処に、受験票を速達で郵送します。

2 受験票送付

入学試験日の集合時刻についてはお送りする受験票に記載します。

3 試験時間表交付

試験期間中の試験スケジュール表を交付します。交付日時については上記の表を参照してください。

4 入学試験

次頁記載の試験科目を実施します。
受験するコースの試験科目と試験日程を確認してください。

5 合格発表

合格発表日に合否結果を簡易書留で郵送します。
また合格者には入学手続書類を併せてお送りします。

6 入学手続き

入学金等の納入や書類の提出が必要です。入学手続期間内に手続きを行ってください。詳細については合否結果とともにお知らせします。

選抜入試(日程A・日程B)

■試験科目(課題は48～63ページ参照)

試験科目		コース・専門 演奏家・器楽・声楽コース	グローバル教養コース		
			音楽学専門	音楽教育専門	文化創造マネジメント専門
専門実技		○	—	—	—
グローバル教養コース筆記試験	音楽学英語※1/英語※2	—	○※1,3	—	○※2
	音楽学小論文	—	○	—	—
	音楽教育小論文	—	—	○	—
	文化創造マネジメント小論文	—	—	—	○※4
	個性表現	—	—	—	○※4
	コース面接	—	○	○	○
副科実技	副科ピアノ	○	○※3	○	—
	副科器楽	—			
筆記試験	音楽理論(楽典)	○	—	○	—
	ソルフェージュ	○	—	○	—
面接		○	○	○	○

※1 グローバル教養コース(音楽学専門)の「音楽学英語」は、音楽に関係のある英文を出題します。

※2 グローバル教養コース(文化創造マネジメント専門)の「英語」は、高等学校第3学年修了程度の英文を出題します。

※3 グローバル教養コース(音楽学専門)では、試験科目として「音楽学英語」または「副科ピアノ(副科器楽)」を選択してください(詳細は58ページ参照)。

※4 グローバル教養コース(文化創造マネジメント専門)では、試験科目として「文化創造マネジメント小論文」または「個性表現」を選択してください(詳細は58ページ参照)。

■併願について

選抜入試では以下の併願が可能です。

第1志望	第2志望	器楽コース	声楽コース	グローバル教養コース	短期大学部音楽科	短期大学部音楽科併願の可否判定法
器楽コース	—	—	—	○※1	○※2	器楽コースの試験により判定
声楽コース	—	—	—	○※1	○	声楽コースの試験により判定
グローバル教養コース	—	—	—	—	○※3,4,5	副科実技試験により判定
演奏家コース	○※6	○※6	—	—	—	—

※1 グローバル教養コース併願者は、第1志望の試験科目に加え、下記の「小論文(文化創造マネジメント専門は英語)」と「コース面接」を受ける必要があります。

【課題】

・音楽学専門 小論文…音楽に関わりのある題を出題します[60分]

・音楽教育専門 小論文…音楽または音楽教育に関係ある題を出題します[60分]

ただし、音楽または音楽教育に関する専門的な知識を必要としません。

・文化創造マネジメント専門 英語…難易度は高等学校第3学年修了程度の英文を出題します[60分]

※2 短期大学部音楽科との併願は、専門楽器が同一である場合に限りです。

※3 短期大学部音楽科との併願は、グローバル教養コース(音楽学専門・音楽教育専門)の受験時に副科器楽で選択した楽器での併願となります。

例)グローバル教養コース(音楽学専門・音楽教育専門)の副科器楽をピアノで受験した場合→短期大学部音楽科ピアノ専門を併願

※4 音楽教育専門志願者は必ず副科ピアノを選択すること。

※5 文化創造マネジメント専門志願者の併願はできません。

※6 演奏家コース試験により判定

■選抜入試志願者の特待生選考について

演奏家コース特待生選考

演奏家コースを第1志望とする全ての志願者が対象となります。

選考は専門実技試験の成績で行います。なお、第1志望「演奏家コース」、第2志望「器楽コースまたは声楽コース」を併願し、第2志望で合格した場合には特待生の選考対象とはなりません。

「選抜入試(日程A)」「選抜入試(日程B)」ともに特待生選考基準を満たしていた場合には、特待生として選出されます。

器楽・声楽・グローバル教養コース特待生選考

この特待生選考を希望する場合、入学願書の特待生選考希望欄に○をつけてください(表記がない場合は希望しないものとする)。

選考方法は専門実技試験(グローバル教養コースの場合、音楽学専門は英語、音楽教育専門は小論文、文化創造マネジメント専門は英語)の成績によって行われます。

なお、「選抜入試(日程A)」「選抜入試(日程B)」ともに特待生選考基準を満たしていた場合には、特待生として選出されます。

■特待生の内容

対象コース	種類	人数	特待生の内容
演奏家コース	特待生S	若干名	入学金・授業料・施設設備資金、年額免除
	特待生A		授業料年額の半額免除、一般維持費年額免除
	特待生B		授業料30万円免除
	特待生C	評価の範囲内	入学金免除
器楽コース 声楽コース グローバル教養コース	特待生A	若干名	1年次の授業料年額の半額免除
	特待生B		1年次の授業料30万円免除
	特待生C	評価の範囲内	入学金免除

※2019年度実績

この入試方式による特典は、初年度(1年次)のみ適用されます。2年次以降は各年次学業成績優秀者を特待生として選出します。

特待生S(演奏家コース)および特待生Cの場合でも、入学手続き時には一旦入学金を納付いただき、入学後に減免を実施します。

特待生Aの場合、後期分の授業料を減免します。

特待生Bの場合、後期分の授業料から30万円を減免します。

この減免を受けた者が次のいずれかに該当した場合は、減免取消しとなり、入学年度に遡及し免除された授業料等を返金していただきます。

●学業成績不良 ●素行不良 ●遅刻・欠席が多い ●休学または退学

※選抜入試(日程A)と選抜入試(日程B)の両方を受験した場合の特待生資格について

選抜入試(日程A)で合格し特待生となった者が、選抜入試(日程B)を受験する場合は、日程Aでの特待生資格を放棄するものとします。